

2009年4月1日から2020年12月31日に当院で原発性アルドステロン症と診断され、副腎静脈サンプリング前に副腎静脈サンプリング用プロトコルの造影CTを撮像した方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：正常肝患者における造影CT上の門脈体循環短絡の有無の検討

研究期間：研究機関の長の許可日～2022年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 准教授 荒木拓次

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

本研究では正常肝患者における造影CT上の門脈体循環短絡の有無を検討し、その頻度を明らかにすることを目的とします。

本成果を用いることで、高アンモニア血症に対するPSS（肝門脈体循環短絡路）治療が肝機能向上のためのPSS治療に拡大して治療を適応することが可能となる。

【研究の方法について】

本研究では、正常肝患者さんについて、原発性アルドステロン症における副腎静脈サンプリング用に日常撮像されている造影CTを使用します。過去に報告のある、脾静脈—左腎静脈短絡、下腸間膜静脈—下大静脈ないしは性腺静脈短絡、上腸間膜静脈—下大静脈ないしは性腺静脈短絡を上記造影CTの1mm厚スライスで視覚上確認します。これは、2名の放射線科医が担当します。この頻度、経路のパターンを集積、検討します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2009年4月～2020年12月に当院で原発性アルドステロン症と診断され、副腎静脈サンプリング前に副腎静脈サンプリング用プロトコルの造影CTを撮像された20歳以上患者さん

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、造影CT画像データ、血管造影画像データ

なお、この研究に必要な検査のデータや臨床情報（年齢、性別、体重）は患者さんのカルテから取り出しますので、患者さんにあらためてお願いすることはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部放射線医学講座の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究実施に伴う重要な知見が得られた場合について】

本研究は、まだ初期の研究であるため、解析結果の確実性が十分ではないこと、将来のリスクに対する予防方法が確立していないことなどのため、個別に結果をお伝えすることはありません。しかしながら、研究の実施により、当初は想定されていなかったことで、あなたやあなたのご家族の生命に、重大な影響を与えるような疾患や、遺伝子などの情報が偶然発見された場合には、あなたのご意向をお尋ねした上で、あなたにのみお知らせすることがあります。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

【問い合わせ等の連絡先】

山梨大学医学部放射線医学講座

准教授 荒木拓次

メールアドレス： taraki@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6744